

綱 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

平成29年
1月1日
発行
第235号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区芝大門1-16-11茶乃木ビル5F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
Eメール shinro@shinro.org
ホームページ http://www.shinro.org/
発行責任者 河崎勝自

平成28年度

第三回中央委員会開催

今年度年末手当について 活発に意見交換を行う

十二月十日、十一日の両日、食の都・大阪市において平成二十八年度第三回中央委員会が開催された。「ホテルコンソールド」を会場に行われた会議には、全国加盟単組より中央委員及びオブザーバー等九十一名の参加者を得て、議題である平成二十九年度運動方針案や要求書案等について慎重な審議が行われた。

第三回中央委員会は、開会式、一人当たり六千三百四十円程度の引上げで妥結し、成立確認が行われ、議長に星野哲也氏(原町日赤)、副議長に小野木学氏(名二日赤)、書記に大淵賢一氏(鳥取日赤)が選出された。

審議に先立ち山本中央執行委員長が挨拶に立ち、次年度の交際については本部一任をいただいたが、鋭意交渉した結果、これ以上の歩み寄りはないと考へ、定算込み平均一・七二

十二月十日、十一日の両日、食の都・大阪市において平成二十八年度第三回中央委員会が開催された。「ホテルコンソールド」を会場に行われた会議には、全国加盟単組より中央委員及びオブザーバー等九十一名の参加者を得て、議題である平成二十九年度運動方針案や要求書案等について慎重な審議が行われた。

報告事項

- 一、各部報告
- 二、各都府県支部報告
- 三、職員組合結成五十周年記念式典に出席
- 四、秋田乳児院内部強化

【教習部】
○初心者研修会の開催
○年末手当交渉のための宣伝ポスターの作成

【調査部】
○平成二十八年度調査結果の集計・発送



二、一般経過報告
平成二十八年度給与改定等の交渉経過を中心に資料にそって報告が行われた。質疑応答では、今年度の年末手当支給において本社支給額が人事院勧告を下回ったことから、単組・施設間交渉が難航したことが報告された。また、法改正に伴う育児休業規程等の改正についても、質疑応答が行われた。

定期大会までに修正することが了承された。スローガン、闘争方針案については、全会一致で原案どおり承認された。

二、要求書案について
基本賃金の引上げについては、賛成多数で定算込み三・〇％(一万千円)と決定された。諸手当の改善については、新たに「資格手当を支給すること」を要求項目に加えることとし、一部字句の修正の後、賛成多数で承認された。また、これまで要求項目に掲げていた「給与要綱三五の改正」については、今年度の年末手当交渉が難航した経緯を踏まえ、今後あらためて十分な議論を行っていくこととした。

三、予算案について
本部会計より平成二十九年度予算案が提出された。賛成多数で承認された。

四、本部役員について
役員詮衡委員長の呉和英氏(那須日赤)より、中央委員会に先立って開催された役員詮衡委員会の報告が行われた。現在、人選にかなり難航していることから、二月の定期全国大会に支障のないよう、場合によっては臨時の役員詮衡委員会を開催することが提案された。賛成多数で承認された。

五、大会運営について
第五十六回定期全国大会開催にあたり、日程、大会役員等の確認が行われた。六、その他

○週休二日制について
週休二日制推進委員会より前日の協議内容が報告された。未実施施設に対し本社の強い指導が求められた。

○日直・当直料について
日直・当直料の支給に際しては、課税対象となるのに注意が必要である。

年頭にあたって

中央執行委員長
山本俊一



新年明けましておめでとうございます。

このようなか、平成二十八年度賃金要求に關し、要求額定算込み三％(一万千円)には届かなかったものの、職員の基準内給与は平均〇・三％、一人当たり千九百円の引き上げとなり、定算込みでは平均一・七二％、一人当たり六千三百四十六円の改正となりました。

また、諸手当においては医師確保調整手当の定額分算となつております。平成二十八年度日本赤十字社の決算については、平成二十八年度決算は例年六割程度で、二年連続の賃上げ妥結となりました。

日本赤十字社の決算報告においては、平成二十七年度は大変厳しい結果となつており、医療施設特別会計については百四十二億円の赤字決算、会計単位では九十施設中六十施設が赤字決算となつております。また、血液事業特別会計については十七億五千万円の赤字決算となつております。平成二十八年度日本赤十字社の決算については、平成二十八年度決算は例年六割程度で、二年連続の賃上げ妥結となりました。

また、今後より一層組織の活性化を図り、諸要求を運動に反映させるために「統一と団結の力」を最大限發揮して、組織の拡大と組合運動の強化を共通の認識とし、更なる躍進を続けたいと思つております。

本年も日本赤十字新労働組合連合会に対する一層のご支援をお願い申し上げます。ご健康とご活躍を祈念し、新年の挨拶に代えさせていただきます。

—第56回—
定期全国大会案内
平成29年2月19日(日)~21日(火)
「ホテルコンソールド浜松」
静岡県浜松市中区元城町109-18
TEL 053-457-1111(代)

新しい年を迎え
皆様のご健康とご多幸を
心よりお祈り申し上げます



二〇一七年 元旦

